


# イニシアチブ・外部評価

- ▼ イニシアチブへの参画
- ▼ SRIインデックス組み入れ状況
- ▼ 評価・認定・受賞

## イニシアチブへの参画


### 国連グローバル・コンパクトへの参加

国連グローバル・コンパクト (UNGC)  は、各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって社会のよき一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な取り組みです。参加する企業・団体は「人権の保護」「不当な労働の排除」「環境への対応」そして「腐敗の防止」の4つの領域に関わる10原則の支持と実践が求められています。



国連グローバル・コンパクトの10原則

人権	原則1：人権擁護の支持と尊重
	原則2：人権侵害への非加担
労働	原則3：結社の自由と団体交渉権の承認
	原則4：強制労働の排除
	原則5：児童労働の実効的な廃止
	原則6：雇用と職業の差別撤廃
環境	原則7：環境問題の予防的アプローチ
	原則8：環境に対する責任のイニシアティブ
	原則9：環境にやさしい技術の開発と普及
腐敗防止	原則10：強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み

ライオンは2009年にUNGCへの支持を表明し、この取り組みに参加しています。また、当社はUNGCのローカルネットワークであるグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ)  にも加入しています。GCNJには、参加企業のCSR活動推進を目的としたテーマごとの分科会があり、当社も「サプライチェーン分科会」「環境経営分科会」「HRDD分科会」「SRI/ESG分科会」等に参加しています。各分科会では、有識者の講演会によるCSR関連の最新動向や各社の事例を共有すると同時に、参加企業各社の幅広い業界における経験をもとに、様々な企業のCSR推進を支援する各種アウトプットの制作に取り組んでいます。

当社が制作に関わったアウトプット

◎ サプライチェーン分科会

 CSR調達入門書 - サプライチェーンへのCSR浸透 -

 CSR調達セルフ・アセスメント・ツール・セット

## その他

- ＜ [環境に関する外部イニシアチブへの参画](#)
- ＜ [薬品安全性に関する外部イニシアチブへの参画](#)
- ＜ [サプライチェーンに関する外部イニシアチブへの参画](#)
- ＜ [人権に関する外部イニシアチブへの参画](#)

## SRIインデックス組み入れ状況

ライオンは、財務面だけではなく、環境・社会・ガバナンス面での課題にも取り組んでいます。国内外において代表的なSRI（社会責任投資）インデックスである「FTSE4Good Global Index」（英国）、「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」（米国、スイス）の構成銘柄に選定されています。また年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用したESG指標、「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」、「MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数」、「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」、「S&P/JPXカーボンエフィシエント指数」「Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index」の構成銘柄にも選定されています。

これらのインデックスへの採用は、世界的に認識されている企業倫理や企業の社会的責任基準を満たしていると評価された、信頼性の高い企業であることを示すものです。

2024年8月時点

2024

2024年7月

### MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

米国のMSCI社が開発した指数。ESG評価が高い日本企業を選定。

[📄 MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数](#)

[＞ ニュースリリース](#)

ライオンのMSCI指数への組み入れ、及びMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるライオンへの後援、推薦、販売促進には該当しません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産であり、MSCIとMSCI指数の名称、及びロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

## 2024年7月

### MSCI日本株女性活躍指数(WIN)

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

ライオンのMSCI指数への組み入れ、及びMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるライオンへの後援、推薦、販売促進には該当しません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産であり、MSCIとMSCI指数の名称、及びロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

米国のMSCI社が開発した指数。女性活躍を推進する性別多様性スコアが高い日本企業を選定。

2017年から8年連続で選定。

[🔗 MSCI日本株女性活躍指数 \(WIN\)](#)

[> ニュースリリース](#)

## 2024年7月

### FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



**FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index**

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにライオン株式会社が第三者調査の結果、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

英国のFTSE Russell社が開発した指数。各セクターにおいて相対的に、ESGについて優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計。

2022年から3年連続選定。

[🔗 FTSE Blossom Japan Sector Relative Index](#)

[> ニュースリリース](#)

## 2024年7月

### FTSE Blossom Japan Index



**FTSE Blossom  
Japan**

英国のFTSE Russell社が開発した指数。ESGのパフォーマンスが優れた日本企業を選定。

2017年から8年連続で選定。

[🔗 FTSE Blossom Japan Index](#)

[> ニュースリリース](#)

## 2024年7月

### FTSE4Good Global Index



英国のFTSE Russell社が開発した指数。ESGの観点から、企業の持続可能性を評価、同社の基準を満たしている企業を選定。

2008年から17年連続で選定。

[FTSE4Good Global Index](#)

[> ニュースリリース](#)

## 2024年6月

### S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数



TOPIXの構成銘柄を対象とし、環境情報の開示状況と炭素効率性の水準(売上高当たり炭素排出量)によって構成銘柄のウェイトを決定する指数。GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が2018年より採用開始。2018年の新設当初から7年連続での選定。

[S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数](#)

[> ニュースリリース](#)

## 2024年6月

### SOMPOサステナビリティ・インデックス



SOMPOアセットマネジメント株式会社が運用する指数。同社の「SOMPOサステナブル運用」に活用するため、毎年ESGに優れた約300銘柄を選定。

ESGに関する取組みが評価され、「SOMPOサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に4年連続で選定。

[SOMPOサステナビリティ・インデックス](#)

2023



2022



2021



2020



2019



## 評価・認定・受賞

当社の環境や物流、人材に関する取り組みは、行政・外部機関から高い評価をいただいています。

2024年2月時点

2024	—
2024年2月	
スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」 <span>CSR</span>	
	スポーツ庁が、従業員の健康増進のためにスポーツ活動に対する支援や促進に向けた取り組みをする企業を応援するため、2017年に創設した認定制度。 スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー2024」に認定。 <a href="#">&gt; ニュースリリース</a>
2023	+
2022	+
2021	+
2020	+
2019	+

## ステークホルダー・エンゲージメント

- ✓ 考え方
- ✓ ライオンの主なステークホルダー
- ✓ ステークホルダー・エンゲージメント
- ✓ ステークホルダー・ダイアログの実施

### 考え方

ライオングループは、事業活動に関わるステークホルダー（利害関係者）の皆さまからの期待や要望に応えることが重要と認識しています。そのため、ステークホルダーの皆さまとの相互理解が持続可能な成長を続けていくうえで不可欠であり、様々なコミュニケーションの機会を通じて積極的に対話・協働するよう努めています。

皆さまからいただいた貴重なご意見やご提案を真摯に受け止め、社内で分析・検討したうえで今後の企業活動の中に落とし込み、より良いサステナビリティへの取り組みに活かしてまいります。

### ライオンの主なステークホルダー

ライオンでは、株主・投資家、お客様（生活者）、ビジネスパートナー、行政・自治体、非営利団体、地域社会、従業員を主なステークホルダーと位置付けています。



### ステークホルダー・エンゲージメント

当社は、社会に貢献する企業であり続けるために、ステークホルダーの皆さまの声に耳を傾け、以下のようなコミュニケーションの機会を通じて、ステークホルダー・エンゲージメント\*を推進しています。頂いたご意見は経営層や該当部署に報告し、当社の事業活動に生かしています。

\* 企業が社会的責任を果たしていく過程において、相互に受け入れ可能な成果を達成するために、対話などを通じてステークホルダーと積極的に関わり合うプロセス（経団連の「企業行動憲章 実行の手引き」（第7版）より参照）

## 主なステークホルダーとコミュニケーション方法

パーパス（存在意義）「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する（ReDesign）」の実践

ステークホルダー	果たすべき主な責任	主なエンゲージメントの機会
株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業成長（売上・利益）</li> <li>株主への利益還元</li> <li>健全で透明な経営</li> <li>説明責任、建設的な対話</li> <li>実効性のあるコーポレートガバナンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株主総会、冊子「定時株主総会招集ご通知」</li> <li>決算説明会</li> <li>個人投資家・機関投資家向け説明会</li> <li>IRツアー：海外機関投資家・アナリストとの個別取材</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>開示情報の充実</li> <li>経営関連情報の適時開示</li> </ul>	Webサイト「株主投資家情報」「ニュースリリース」等
	積極的な財務・非財務情報の開示	統合レポート
お客様(生活者)	よい良い習慣づくり	普及活動や展示会イベント
	安心安全なモノづくり	工場見学
	生活者視点を重視した商品開発	生活者研究：グループインタビュー、モニター調査
	日々の暮らしに役立つ優良な製品・サービスの提供	CM、店頭、通販ECサイト
	日々の暮らしに役立つ生活情報の発信	ホームページ、SNS等のソーシャルメディア
	お客様への適切・誠実な対応・サポート	お客様相談窓口
ビジネスパートナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>サプライヤー（原材料メーカー、生産委託先）</u></li> <li>人権や環境等に配慮したサプライチェーンマネジメントの構築</li> <li>責任ある原材料調達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ライオングループサプライヤーCSRガイドライン」に基づくセルフチェック／フィードバック</li> <li>コンプライアンス相談・通報窓口（AL心のホットライン）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>小売店、卸店</u></li> <li>公平で公正な取引を通じた信頼関係の構築</li> <li>商品の安定供給</li> <li>生活者ニーズをとらえた付加価値商品やサービスの提案</li> <li>各カテゴリー市場活性化への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新製品説明会、商品勉強会</li> <li>ライオン会、卸店会</li> <li>売場戦略提案会、MD（マーチャンダイジング）会議</li> <li>協働イベント・フェア</li> <li>環境に関する協働取り組み</li> </ul>
行政・自治体	監督官庁への適切な対話	協議会・委員会・意見交換会、人事交流
	地域の社会課題解決に向けた連携	協定締結、協働イベントや取り組み
	対等で健全な関係構築・保持	報告会、情報交換
非営利団体	社会や環境の課題解決に向けた協働・協力支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定締結、協働イベントや取り組み</li> <li>意見交換会</li> <li>金銭・現品寄付による支援</li> </ul>

ステークホルダー	果たすべき主な責任	主なエンゲージメントの機会
地域社会	社会的・経済的な課題解決	社会貢献活動、地域コミュニティへの参画
	地域活性化発展への貢献と地域共生	イベントを通じた地域住民との触れ合い
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進・清潔衛生に関する次世代教育</li> <li>教育カリキュラムの提案</li> <li>環境教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康セミナー</li> <li>災害支援</li> <li>科学教室支援</li> <li>森林整備活動</li> </ul>
	自然環境への配慮	環境美化活動
	生物多様性の保全	地域住民との保全活動
従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員が働きやすい環境の提供</li> <li>働きがい支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イントラネットなどによる情報発信（社内広報活動）</li> <li>従業員意識行動調査アンケート</li> <li>コンプライアンス意識調査アンケート</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>良好な関係づくり</li> <li>イノベーションに挑戦する組織風土の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営層と意見交換する社長懇談会</li> <li>新価値創造プログラムを通じた新規事業の創出</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公正な評価や処遇</li> <li>福利厚生制度の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労使協議会</li> <li>個別面談</li> </ul>
	人材の活用と育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキル習得と能力開発に対応した多彩な教育プログラム研修</li> <li>階層別研修</li> </ul>
	労働安全衛生の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働災害防止プログラム</li> <li>eラーニング研修</li> </ul>
	健康増進・管理	健康診断、歯科健診
	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス相談・通報窓口（AL心のホットライン）</li> <li>eラーニング研修</li> </ul>
	多様性（ダイバーシティ）の尊重	



## ステークホルダー・ダイアログの実施

当社は、ステークホルダーとの対話を「当社の目指す方向と社会の要請を照らし合わせ、よき企業市民としてのバランス感覚を確認できる貴重な機会」として重視しています。

最近は、これまでにない社会からの要請に応える必要性が増したことを背景に、ステークホルダー・ダイアログ\*の一環として経営層を対象とした勉強会を開催しています。経営に直結するサステナビリティに関するテーマを取り上げ、外部有識者と当社の経営層の間で意見交換を実施しています。いただいた示唆やご意見は、経営に反映させるだけでなく、サステナビリティ活動の促進につなげています。

2022年5月、近年大きな社会問題として注目を集めている「人権尊重」をテーマとして、人権を専門とする外部有識者を講師に迎え、会長、社長、取締役、監査役、執行役員とのダイアログを実施しました。

今後も世の中のニーズをとらえ、社会の要請に応える企業を目指し、様々な形でステークホルダー・ダイアログを続けていきます。

実施年	参加ステークホルダー	テーマ
2022年	外部有識者	「人権尊重（「国連ビジネスと人権に関する指導原則」）～今、なぜ人権尊重の取り組み強化が必要か」
2021年	NPO法人	「おくちからだプロジェクト」
	外部有識者、従業員	「サステナビリティ浸透」
2020年	外部有識者	「ESG経営」
2019年	外部有識者	「サステナビリティ経営の推進に向けて」

\* 企業が自社の社会・環境的活動に対するステークホルダーの意見を反映することを目的とし、様々なステークホルダーを集め開催する双方向の対話のこと

## 社会貢献活動

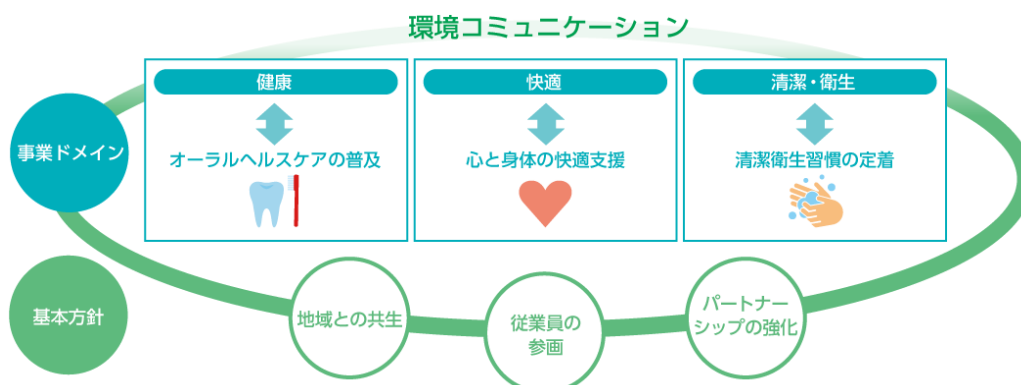
- ✓ 考え方
- ✓ 全体像
- ✓ 自治体との取り組み
- ✓ 教育支援活動
- ✓ スポーツ振興活動
- ✓ ジェンダー平等に向けた活動
- ✓ 地域共生活動
- ✓ 寄付活動（フィランソロピー活動）

### 考え方

ライオンは、創業以来、人々の健康な毎日を目指して、商品・サービスの提供とともに、生活者への普及啓発活動や情報提供を推進し、「健康な生活習慣づくり」を提案しています。「ライオン企業行動憲章」においては、「私たちは、社会の一員として、積極的に社会貢献活動を行う」と定めています。これに則り、日本のみならずアジアにおいて、健康、快適、清潔・衛生分野を通じてサステナブルな社会の発展および地球環境に貢献する活動に取り組んでいます。

また、当社の事業を継続するためには、事業所の所在地やゆかりのある地域との共生が必要だと考えています。地域住民の方々や行政、市民団体などの皆様と共にパートナーシップの強化を図りながら、地域社会の課題解決や活性化に取り組んでいます。さらに、事業に関連した啓発活動に従業員一人ひとりが参画する機会を増やすことで、高い社会・環境意識をベースにパーパス「より良い生活習慣づくりで、人々の毎日に貢献する(ReDesign)」を実践し、新しい価値を生み出す人材の育成にもつなげます。

### 全体像



## 自治体との取り組み

### 宮城県石巻市

石巻市は、創業者である小林富次郎のゆかりの地であることから、2011年の東日本大震災以降、市内で独自に復興支援活動を継続しています。

2019年1月には、当社が培ってきた健康づくりに関するリソースを活用して、市民の皆様の健康増進と地域の活性化を図るために、石巻市と包括連携協定（「東北に元気を love.石巻」）を締結しました。コロナによる活動の休止時期を挟みながらも、2024年1月からは第2期包括連携協定を締結し、石巻市との連携を継続しています。

今後も従業員参加のもと、様々な活動に取り組んで参ります。



石巻南浜津波復興祈念公園での植樹活動集合写真



東日本大震災におけるライオンの取り組み

### 山梨県山梨市

水源である森林の整備体験を通して、従業員の環境意識を醸成することを目的に2006年10月から山梨県の「企業の森推進事業」の第1号として、山梨市と協定を結んで市有林で活動しています（「ライオン山梨の森」）。将来、環境教育のフィールドになるような森林の整備を進めるとともに、隣接する造成地を里山に再生することにも挑戦しています。また、森林整備を通して、地域の方々との交流も行っています。



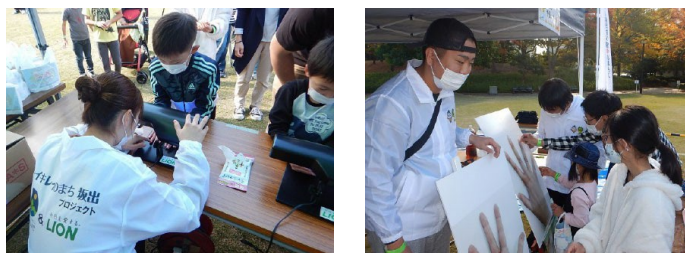
森林整備活動の様子



ライオン山梨の森

## 香川県坂出市

「キレイキレイのまち 坂出」プロジェクトは、2014年に坂出市、ライオンケミカル(株)オレオケミカル事業所、当社が連携協定を締結した、手洗いやハミガキなどの健康習慣の啓発を通じて、坂出市民のみなさんの健康増進を目指す活動です。



「ふるさとの親子まつり」での手洗い啓発活動の様子

## キレイキレイのまち坂出 プロジェクト

キレイキレイのまち坂出プロジェクト



## 東京都墨田区

これまで当社の本社所在地であった墨田区と、2020年に、プラスチックの資源循環を目的に、使用済みハブラシの回収、リサイクルを行うことで合意し、ハブラシリサイクルに関する協定を締結しました。

2020年4月～2021年3月に回収した使用済みハブラシは、定規に再生し、回収に協力してくれた小学校など（回収協力拠点の多くが学校など教育機関）にお戻しました。



回収に協力してくれた小学校を訪問



定規を手にして喜ぶ小学生



完成した「15cm定規」



ハブラシリサイクル



## 東京都台東区

2023年3月、当社は台東区と、区民のみなさまの健康増進と、地域共生及び持続可能な社会の実現に向けた地域づくりに貢献するため、相互に連携・協力する協定を締結しました。



包括連携協定締結式の様子

台東区民の皆様の毎日を豊かにすることを目的に、8つの分野での連携を通して、以下の通り活動を行いました。

活動名称	活動時期	23年実績（一部24年実績含む）
歯科保健衛生	2023年11月、 2024年1月	テーマ、講習対象を検討し、オーラルヘルスケアリーダー講習会を1回/半期ベースで開催しました。 * 会場については台東区、当社にて交互に設定。
ハブラシリサイクル	2023年4月	48拠点で使用済みハブラシを回収しました。（集まったハブラシは、当社指定リサイクル関連企業にて再資源化し、台東区民の皆様に役立つプラスチック再生品に還元いたします。） 環境イベントを通じて、ハブラシリサイクルの周知活動と回収への参加を呼びかけました。
生物多様性活動	2023年9月、 2024年2月	当社1Fイベントスペースにてワークショップを実施しました。 ①「たった1滴水を分ける」人と生きものたち ②プラスチックは、「わるもの」なの？ 上記の①②のテーマで水やプラスチックとの付き合い方を親子で考え、行動宣言していただきました。
Kaji×Kaji ハッピーシェアプロジェクト	2023年12月	台東区男女平等推進プラザ「はばたき21」で、男女間の役割分担意識を見直し、家庭内で家事をシェアすることで日々の生活のQOLを向上させるセミナーを開催しました。夫婦間の家事ギャップの確認や「食後の後片付け」のワークショップを行いながら、家事シェアへの理解を図りました。
おくちからだプロジェクト	2023年9月	こども食堂を運営するまなび部でおくちからだプロジェクト体験キットの提供と当社社員によるオーラルケアプログラム運営と効果検証を実施し、子どもたちに歯を磨く意識や子ども達同士のコミュニケーション機会を向上させました。
災害・防災関係	2023年9月	防災フェスタにブースを出展し、災害時のオーラルケアの重要性についての啓発を実施しました。
観光関係	2023年4月～	浅草エリアの滞在時間の延伸ならびに分散化を目的とした街歩き謎解きを2023年からスタートしました。プロモーションを強化し、さらなる体験者の拡大を狙います。
ラグビー関係	2023年10月～2024年 1月	10月体育の日に「台東区スポーツフェスタ」のラグビー部門でラグビー体験会を実施しました。 また、2024年1月まで台東区内小学校にてタグラグビー授業を実施しました。

## 教育支援活動

### 従業員の参画

当社では、従業員研修の一環として、2014年から幼稚園や保育所などで、園児に手洗い習慣の大切さを歌と踊りのセットで楽しく教える活動を行っています。従業員は当社商品の提供だけでなく、自ら清潔・衛生習慣を伝える役割も担っています。

このような活動に参画し社会課題に直接触れることで、課題解決力や従業員のチームワーク力、共感性が高まるとともに、社会貢献意識の向上にもつながるため、人材育成に資する活動として積極的に取り組んでいます。



出張授業の様子



幼稚園や保育所での活動の様子

### 科学教育支援活動

#### リカジョ育成イベントへの参画

2019年から内閣府男女共同参画局、文部科学省総合教育政策局、一般社団法人日本経済団体連合会が推進する「理工チャレンジ（リコチャレ）～女子中高生・女子学生の理工系分野への選択～」の取り組みに賛同し、イベントを実施しています。



## 理系学生向け教育支援活動

理系学生向け教育支援の一例としては、毎年、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校\*の高校生に向けて、知識の深掘ができるような実験教室を実施し、研究の拠点である平井研究所での見学会では技術進歩の歴史や開発者の想い、商品に込められた技術を紹介することで身近な科学への関心を高め、研究者から直接話を聞くことにより、職業観の醸成につながる活動を行っています。

\* 文部科学省では、将来の国際的な科学技術人材を育成することを目指し、理数系教育に重点を置いた研究開発を行う「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」事業を平成14年度から実施しています。先進的な理数系教育を実施している高等学校などを「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」に指定し支援しています。

## ボランティア研究員による科学教室の実施

当社平井研究所がある江戸川区では50年以上の歴史を持つ科学教育センター事業を推進しており、区、学校、区民の3者が協力し、身近で起こっている科学現象やその面白さを子どもたちに教えています。当社の商品の基盤となっている「界面科学」をよく知っていただき、くらしの中の科学に親しんでいただけるよう、小学生への科学教室を15年以上継続して実施しています。

[> 研究所の活動はこちら](#)

## スポーツ振興活動

### ライオンラグビー部「ライオンファンクス」による活動

当社ラグビー部は2022年で創部50周年を迎えました。これもひとえに、日ごろ応援やご支援などで支えて頂いている皆様のお陰でございます。心から感謝申し上げます。

当社ラグビー部のスポーツ振興活動としては、活動拠点である当社千葉工場のグラウンドにおいて、毎年春に「ライオンラグビーフェスティバル」を開催しております。地元のラグビースクールのこどもたちを中心に毎年約700名規模の地域の皆様にご参加頂いており、このフェスティバル内で行われるラグビー教室では現役選手たちが幼稚園児から小学校高学年生までのラグビー達にラグビースキルをわかりやすく教えています。

また、2012年からは東日本大震災復興支援「東北に元気を love.石巻」プロジェクトの一環として、石巻市でもラグビー教室を開催しており、毎年約100名近くの皆様にご参加頂いております。今年度は新たに台東区ラグビー協会主催の「台東区ラグビーフェスタ」へ共催させて頂き、今後もラグビーを通じた様々な地域・社会貢献活動に取り組んで参りたいと考えております。



[ライオンファンクスホームページはこちら](#)





千葉工場にて



ライオンファンクスホームページはこちら



石巻にて



## その他、ライオンが応援するスポーツイベント



RCCひろしま女子駅伝競走大会



RKK女子駅伝競走大会



全国道場少年剣道大会



ウォーキングイベント



### スポーツ庁「スポーツエールカンパニー2024」に認定

従業員のスポーツ活動の促進に向けた取り組みや、スポーツ分野における積極的な支援を実施している企業として、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー2024」に認定されました。

[> ニュースリリース](#)



## ジェンダー平等に向けた活動

### Kaji×Kaji ハッピーシェア

全国の自治体や企業とタッグを組んで、家庭内の“家事ギャップ”の解消を目指しKaji×Kajiハッピーシェアに取り組んでいます。その地域でくらす家庭の円満を応援することで、女性の社会進出や少子化など様々な社会課題の解決のサポートをしています。夫婦だけでなく多くの方々にも、情報をお届けできるよう自治体の皆さんと当プロジェクトを推進しています。



明石市における家事セミナーの様子



## 地域共生活動

### 工場見学

工場見学は生活者と当社を結ぶ大切な接点のひとつと考えています。

当社製品に親しみをもってもらい、安全・環境保全を第一とする操業状況をご覧いただくため、毎年多くの方に工場見学に来ていただいています。ただし2020年2月以降は、新型コロナウイルス感染防止のため休止していましたが、2023年より順次再開を進めています。



小田原工場（2019年）



小田原工場（2019年）



千葉工場（2019年）



明石工場（2019年）

2020年工場見学の内訳

工場	千葉工場	小田原工場	大阪工場	明石工場	合計
見学者数	50名	231名	126名	150名	557名

- > 千葉工場
- > 小田原工場
- > 大阪工場
- > 明石工場

環境美化活動

工場・オフィス周辺の清掃活動

当社グループの各工場・オフィスでは、地域社会とのコミュニケーションを大切にし、敷地内だけでなく周辺の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。



明石工場周辺の清掃活動



小田原工場周辺の清掃活動



千葉工場周辺の清掃活動



福岡オフィス近隣の海浜公園での清掃活動

## 関口川の清掃に参加（小田原事業所）

小田原市国府津地区自治会連合会では、国府津海岸清掃活動を毎年実施し、小田原地区の従業員が2003年から参加してきました。2008年からは近隣を流れる関口川に清掃場所が変更されましたが、活動は継続して行っています。ただし2020年以降は、新型コロナウイルス感染防止のため休止し、2022年に再開しました。2023年は雨天のため休止しました。



清掃活動の様子

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
参加者数	43名	36名	休止	休止	32名	休止

## 神栖市海岸清掃の活動（ライオンケミカル（株）ファインケミカル事業所）

神栖市の海岸（日川浜・波崎）をライオンケミカル（株）ファインケミカル事業所が2009年より地域貢献活動の一環として、地域の方々と一緒に毎年6月に清掃活動を行っています。ただし2020年以降は新型コロナウイルス感染防止のため休止し、2022年に再開しました。



おそろいの緑色のTシャツを着て参加（2023年）

清掃活動の様子（2023年）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
参加者数	46名	休止	休止	20名	24名

## 各事業所での生物多様性保全活動

当社は、自然の恵みをいただきながら毎日の暮らしを支える様々な商品をお届けしています。

そこで、資源の持続可能な利用に努めるとともに、自然共生社会の実現に積極的に各事業所の従業員が貢献することを目指し、生物多様性の保全に取り組んでいます。



生物多様性保全への取り組み



## その他、ライオンが応援するイベント



ライオン 美ら action

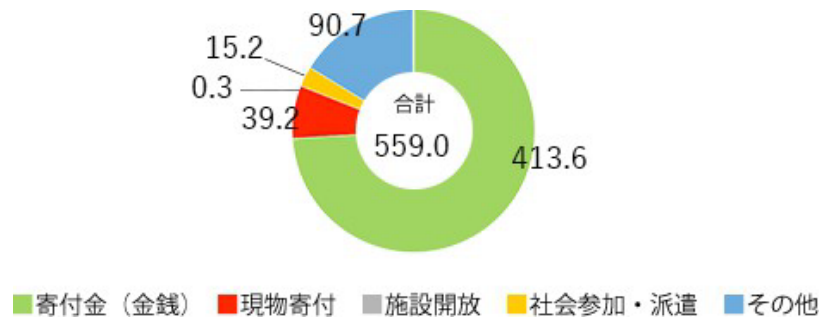


## 寄付活動（フィランソロピー活動）

当社は、国内グループ会社を含め、毎年社会貢献活動の実績調査を行い、その報告をもとに各活動に対する金銭や現物の寄付金額と活動費を集計・管理しています。

2023年度の社会貢献活動支出額は、合計約559.0百万円となりました。

2023年度 社会貢献活動支出額（単位：百万円）



\* 寄付金（金銭）には、（公財）ライオン歯科衛生研究所（LDH）への寄付金が含まれています

社会貢献活動支出額（単位：百万円）

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
519	1,041	778.2	605.9	559.0

\* 2022年のデータに誤りがあり、訂正しました。

従業員の勤務時間内でのボランティア時間（単位：時間）

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
5,956	1,923	1,053	2,826	3,182

\* 2020、2021年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、ボランティア時間が減少しました。